

# 中部縦貫町方地区高架橋下部工事

厳冬の地で、自動車専用道路の橋脚造りに挑んでます！

発注者：中部地方整備局 高山国道事務所

受注者：大山土木株式会社

2013年入社 丸山 祐輔



## ・自己紹介

岐阜県出身、37歳。  
高校の土木科を卒業し、この業界に足を踏み入れました。  
今までいろいろな工事を担当してきましたが、今回初めて  
道路橋の下部工事を担当しました。

## ・建設業に入った動機

父親の職業が建設業で幼いころから身近に感じていました。現場へ重機を見に行ったりしたのを今でも覚えています。そんな父親の姿を見ながら、『いつかは自分の手でも！』という思いからこの仕事を選びました。

## ・現場での私の役割

決められた工期内に工事が終わるために、工程を組立て協力会社との工程の調整、必要な作業人員の確保、そして資機材の段取りなどをスムーズに行う必要があります。

私の役割は、現場が安全でかつ円滑に進んでいくように発注者や現場の作業員などと上手に調整を行うことです。

現場運営を行う上ではとにかく無駄の無いように密な打合せと人とのコミュニケーションが重要です。



## ・仕事で大事にしていること

図面に書いてあるものをただ造るのではなく、より良いモノ・より高い品質になるよう心掛けて作業しています。

飛騨地方の冬は積雪・凍結によりコンクリート構造物を施工するには極めて厳しい環境下にあります。

そんな中でもみんなで様々なアイデアを出して品質向上に努め、将来の道路利用者に安全と安心をお届けする気持ちで仕事に取り組んでいます。



## ・若者へのメッセージ

建設業は苦しいことや辛いことがたくさんあっても、工事をやり終えた後の達成感や自分が工事に携わったことを友人や家族に誇れることが最高です。

やりがいがたくさんつまった建設業で、みなさんも一緒にがんばりましょう！

